

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	コミュニケーション英文法				
担当者氏名	山本 元子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

教科書の学習内容の確認を行った後、Exercise の問題に解説を加え、解きながら進める。Exerciseに基づく内容について、ペアないしはグループで自分の考えを述べ、必要に応じ質疑応答を行う形式のプレゼンテーション訓練を行う。受講生のレベルや進捗状況により、シラバスに変更を加える場合がある。

《テキスト》

やさしく学ぶコミュニケーション英文法（成美堂）

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業の到達目標》

英語によるコミュニケーションを行う上で、必要となる以下の項目に熟達することを目指す。

- ・自分の考えを正確に伝え、細かな感情を表現するために「文法」の知識と運用する能力を身につけること。
- ・英文の構成と文法事項を理解した上で、適切な英文を話したり書いたりできるようになること。

《授業時間外学習》

予習(わからない単語を調べる)・復習(ノートテイク)を行うこと。

《成績評価の方法》

平常点(参加姿勢・発表点) 30%

提出物(ノート・レポート等) 20%

到達度をはかるための考査50% →到達度が一定レベルに達しない場合は、上記2項目の成績が良好であっても、成績不良となる場合があることに留意すること

《備考(教員経験の有無)》

- ・シラバスは受講者と協議の上変更を加えることがある。
- ・文部科学省 業績審査 単独指導可。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	英語学習の基本 オリエンテーション	本講義の進め方 評価など
2	時間の表現 1	Chapter 1 現在形
3	時間の表現 2	Chapter 2 過去形
4	名詞の表現	Chapter 3 名詞・代名詞
5	つなぐ表現 空間と時間の表現	Chapter 4 接続詞・前置詞
6	程度の表現	Chapter 5 形容詞・副詞
7	動詞のさまざまな形	Chapter 6 助動詞
8	動詞のさまざまな形	Chapter 7 動名詞
9	動詞のさまざまな形	Chapter 8 不定詞
10	比較の表現	Chapter 9 比較
11	動詞のさまざまな形	Chapter 10 分詞
12	時間の表現	Chapter 11 未来形
13	動詞のさまざまな形	Chapter 12 受動態
14	動詞のさまざまな形	Chapter 13 完了形
15	まとめと演習	まとめと演習